

本プレスリリースは、プリンシパル・ファイナンシャル・グループ(本社:米国アイオワ州)が発表したリリースの抄訳です。  
(米国時間 2018年9月10日に発表)

## プリンシパル・ファイナンシャル・グループ、 グローバル・アセット・マネジメント部門の新経営陣を発表

米プリンシパル・ファイナンシャル・グループ®(以下 PFG)はこのたび、グローバル・アセット・マネジメント部門(運用資産総額 6,670 億ドル<sup>1</sup>)の新経営陣を発表しました。

グローバル・アセット・マネジメント部門の社長には、エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高投資責任者(CIO)のティム・ダンバー(Tim Dunbar)が就任します。グループの資産運用ビジネスを統括する同部門には、プリンシパル・グローバル・インベスターズ(以下 PGI)、プリンシパル・インターナショナル社の運用部門<sup>2</sup>、プリンシパル生命保険の一般勘定、そして先日買収したデジタル運用アドバイザーのロバストウェルス社が含まれます。また、世界 80 ヶ国以上で約 4,300 億ドル<sup>1</sup>を運用するマルチブティック運用機関である PGI の最高経営責任者(CEO)には、現在まで最高執行責任者(COO)を務めていたパット・ホルター(Pat Halter)が昇格します。

PFG の取締役会議長で社長兼 CEO のダン・ハウストン(Dan Houston)は、「ティムは、投資に関する専門知識とリーダーシップを備え、新たな職務に最適な人物です。これまでも、社内の有能な人材を率いて戦略や事業を遂行してきました」と述べ、さらにこう続けています。「パットは、その経営手腕に加え、世界の環境変化に運用業界がどう対応すべきかに関して深く理解しており、ティムの運用に関する深い知識を補完しつつ、当社の成長加速を支える重要な役割を担ってくれるでしょう。このチームの実績と多彩なグローバルでの経験が組み合わせることで、当社の顧客に引き続き利益をもたらし、当社の事業はさらに前進すると確信しています」。

今回の変更は、PFG が新たな経営体制に移行する中で PGI の CEO を辞任したジム・マッコーガン(Jim McCaughan)の後継人事の一環として発表されました。ジムは9月10日付で CEO を辞任し、9月30日付で当社を離れる予定です。

「ジムは、プリンシパルの資産運用戦略の遂行の中心的人材として、当社が、多様な資産クラスにわたるマルチブティック型アプローチを確立し、世界中の投資家と取引を行うために重要な役割を担ってきました。彼のこれまでの貢献に感謝し、今後のご多幸をお祈りします」とハウストンは述べています。

この新たなリーダーシップ体制は、当グループが持つ資産運用機能を更に統合し、投資ソリューションを拡充し、世界中のお客様に最も幅広くお役に立つという当社の目標を反映しています。

「このタイミングは、先進国と新興国市場の双方における計り知れない成長と、当社の顧客基盤の拡大及びサービス進化に向けた機会を捉えるため、当社のグローバル資産運用業務を更に統合するのにまさに適切な時機です」とハウストンは述べています。

ダンバーは新たな職務において、グローバル・アセット・マネジメント部門全般の戦略を担当し、世界的な資産運用商品の拡充、各市場、顧客セグメント、販売チャネルにおける顧客基盤の拡大に取り組めます。ダンバーはハウストンの直属となります。ダンバーのプリンシパルにおけるキャリアは30年以上に及び、その中でグローバル市場における戦略、合併・買収、年金業務、ならびに資産運用チームを率いてきました。

ホルターは過去2年間、経営移行計画の一環として当社の戦略的な方向性と運営を主導し、2003年以降、プリンシパル・リアル・エステート・インベスターズのCEOを務め、近年では、プリンシパル・グローバル・インベスターズのCOOも兼務してきました。ホルターは当社で30年以上のキャリアを有します。ホルターはダンバーの直属となり、ダンバーと共に当社の経営管理委員会(Executive Management Committee)に参加します。

ダンバーが新たな職務に就任するに伴い、PFGの最高リスク責任者(CRO)のジュリア・ローラー(Julia Lawler)がエグゼクティブ・バイスプレジデントに昇格し、グローバル・セキュリティ、事業継続、会社の不動産関係を担当します。これらの責務に加え、ローラーは企業リスク管理及び内部監査も担当します。

#### ティム・ダンバー略歴

2013年にプリンシパル・ファイナンシャル・グループの最高投資責任者(CIO)に就任しました。商業不動産、株式、M&A、戦略、財務、人事などさまざまな分野でリーダーシップを発揮し、メキシコで年金や運用業務を監督した経験もあります。現在はプリンシパルの複数の運用委員会のメンバーである他、米国内外の合弁企業や100%子会社のガバナンス委員会で委員を務めています。1986年にプリンシパルの運用部門に入社。アイオワ州立大学で学士号を取得。

#### パット・ホルター略歴

2016年にプリンシパル・グローバル・インベスターズの最高執行責任者(COO)に就任し、財務、業務、グローバル企業リレーション、人事、テクノロジーといった中枢部門に加え、多くの運用ブティックの監督を担当しています。現在は15の投資ブティックとプリンシパル・ミューチュアル・ファンド・ボードで理事を務め、複数の国際ベンチャーでも取締役を務めています。さらに、2003年からは不動産投資ブティックも率いており、全体の戦略、事業開発、ブティック管理を担当しています。1984年にプリンシパルの商業不動産部門に入社し、不動産投資部門のさまざまなポジションでリーダーシップを発揮しました。ウィスコンシン大学で財務およびマーケティングの学士号、財務のMBAを取得。

#### ジュリア・ローラー略歴

2018年1月に最高リスク責任者に就任しました。その前は、プリンシパル・グローバル・インベスターズの資産配分ブティックであるプリンシパル・ポートフォリオ・ストラテジーズでシニア・エグゼクティブ・ディレクターを務めていました。1984年にプリンシパルの商業不動産部門に入社し、CIOやキャピタルマーケットのヘッドなど、グループ内でさまざまなポジションを歴任しています。アイオワ大学で学士号を取得。

脚注：

<sup>1</sup> 2018年6月30日現在。

<sup>2</sup> 当社が事業を行う市場の規制に遵守かつ許可する範囲において。

プリンシパル・ファイナンシャル・グループが発表したオリジナルリリース(英文)は、以下よりご覧ください。

<https://www.principal.com/about-us/news-room/news-releases/principal-announces-new-leaders-global-asset-management>

**プリンシパル・ファイナンシャル・グループ(PFG)について ([www.principal.com/individuals](http://www.principal.com/individuals))**

PFGは世界有数のグローバル金融サービス機関であり、傘下の会社を通じて個人や法人の投資家に対してリタイアメント・サービス、資産運用、保険等の様々な金融商品ならびにサービスを提供しています。PFGは米フォーチュン誌「フォーチュン 500」の一角を占め、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、ラテンアメリカおよび米国に配置された世界の拠点から総額 6,666 億米ドル(2018年6月末)に上る資産を運用しています。

**プリンシパル・グローバル・インベスターズ(PGI)について([www.principalglobal.com](http://www.principalglobal.com))**

PGIは、PFGの資産運用部門で、株式、債券、不動産の3つの異なるアセットクラスの金融商品に加え、投資一任契約および投資顧問契約に基づく専門性の高い運用サービスを、世界の年金基金、機関投資家等のお客様に提供しています。PGIの運用資産総額は、2018年6月末現在、4,300億米ドルにのびります。

**プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社 (<http://www.principalglobal.jp/>)**

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー11階 TEL:03-3519-7880 (代)、FAX:03-3519-6410

代表者:代表取締役社長 板垣 均

金融商品取引業者登録番号:関東財務局長(金商)第462号

加入協会:

一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 投資信託協会

**この件に関するお問い合わせ先:**

プリンシパル・グローバル・インベスターズ(株) マーケティング・コミュニケーション (小島 Tel: 03-3519-7880)

または、広報代理:共同 PR 株式会社(藤芳 Tel: 03-3571-5236)